

平成30年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

平成29年8月10日

上場会社名 内外テック株式会社 上場取引所 東
 コード番号 3374 URL http://www.naigaitec.co.jp
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 岩井田 克郎
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役 (氏名) 佐々木 政彦 TEL 03-5433-1123
 四半期報告書提出予定日 平成29年8月10日 配当支払開始予定日 -
 四半期決算補足説明資料作成の有無: 無
 四半期決算説明会開催の有無: 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成30年3月期第1四半期の連結業績 (平成29年4月1日～平成29年6月30日)

(1) 連結経営成績 (累計) (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
30年3月期第1四半期	6,595	40.2	314	115.9	310	120.1	185	72.7
29年3月期第1四半期	4,705	△8.7	145	2.7	141	6.2	107	6.0

(注) 包括利益 30年3月期第1四半期 201百万円 (101.4%) 29年3月期第1四半期 100百万円 (△16.7%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
30年3月期第1四半期	76.21	-
29年3月期第1四半期	44.13	-

(注) 平成28年10月1日付で普通株式2株につき1株の割合で株式併合を実施しております。前連結会計年度の期首に当該株式併合が行われたと仮定して1株当たり四半期純利益金額を算定しております。

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
30年3月期第1四半期	13,518	2,884	21.3
29年3月期	13,149	2,732	20.8

(参考) 自己資本 30年3月期第1四半期 2,884百万円 29年3月期 2,732百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
29年3月期	-	0.00	-	20.00	20.00
30年3月期	-	-	-	-	-
30年3月期 (予想)	-	0.00	-	25.00	25.00

(注) 直前に公表されている配当予想からの修正の有無: 無

3. 平成30年3月期の連結業績予想 (平成29年4月1日～平成30年3月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期 (累計)	12,783	32.2	577	92.2	571	96.4	356	54.1	146.43
通期	25,730	23.0	1,143	30.7	1,130	33.0	763	21.7	313.83

(注) 直前に公表されている業績予想からの修正の有無: 有

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無
新規 一社（社名）、除外 一社（社名）

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：有

(注) 詳細は、[添付資料] 7 ページ「2. 四半期連結財務諸表及び主な注記(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項（四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用）」をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	30年3月期1Q	2,536,000株	29年3月期	2,536,000株
② 期末自己株式数	30年3月期1Q	104,724株	29年3月期	104,724株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	30年3月期1Q	2,431,276株	29年3月期1Q	2,431,817株

(注) 平成28年10月1日付で普通株式2株につき1株の割合で株式併合を実施しております。前連結会計年度の期首に当該株式併合が行われたと仮定して期末発行済株式数、期末自己株式数及び期中平均株式数を算定しております。

※ 四半期決算短信は四半期レビューの対象外です。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。

また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、[添付資料] 2 ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	1
(1) 経営成績に関する説明	1
(2) 財政状態に関する説明	1
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	1
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	3
(1) 四半期連結貸借対照表	3
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	5
四半期連結損益計算書	
第1四半期連結累計期間	5
四半期連結包括利益計算書	
第1四半期連結累計期間	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	7
(継続企業の前提に関する注記)	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	7
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	7
(セグメント情報等)	7

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間のわが国経済は、輸出や設備投資、個人消費に改善が見られ、前年度から引き続き緩やかな回復基調が続きました。世界的にも緩やかな成長が続いていますが、依然として先行き不透明感は残りました。

当社グループの業績に大きな影響を与える半導体・半導体製造装置市場では、スマートフォンやデータサーバーのSSD（ソリッドステートドライブ）化等による旺盛な需要のほか、中長期的なIoT市場の伸展等に伴う半導体需要の拡大見通しを背景に、ロジック半導体や3次元NAND型フラッシュメモリ等の先端技術への設備投資や増産体制に向けた設備投資が、高水準であった前年度から更に増加傾向となったことにより半導体製造装置メーカーの受注は好調に推移しました。

また、FPD（フラットパネルディスプレイ）製造装置市場では、中国・韓国市場におけるモバイル用途の中小型パネル向け設備投資や大型液晶パネル向けの設備投資が、ともに活発に継続したことによりFPD製造装置メーカーの受注は好調に推移しました。

このような状況のもと、当第1四半期連結累計期間の連結業績は、主要取引先である半導体製造装置メーカーからの受注が好調に推移したことから、売上高は65億95百万円（前年同期比40.2%増）、営業利益3億14百万円（前年同期比115.9%増）、経常利益3億10百万円（前年同期比120.1%増）、親会社株主に帰属する四半期純利益1億85百万円（前年同期比72.7%増）となりました。

セグメントの業績は、次のとおりであります。

①販売事業

半導体・FPD製造装置などの各種コンポーネンツ（部品）及び同装置等の販売事業におきましては、主要取引先である半導体製造装置メーカーからの受注が好調に推移したことにより、売上高60億76百万円（前年同期比39.9%増）、セグメント利益1億85百万円（前年同期比222.6%増）となりました。

②受託製造事業

半導体・FPD製造装置などの組立及び保守メンテナンス等の受託製造事業におきましては、主要取引先である半導体製造装置メーカーからの受注が好調に推移したことにより、売上高9億22百万円（前年同期比53.8%増）、セグメント利益1億24百万円（前年同期比50.3%増）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当社グループの当第1四半期連結会計期間末の総資産は、前連結会計年度末に比べ3億69百万円増加し、135億18百万円となりました。この主な要因は、電子記録債権が3億14百万円、有形固定資産が1億10百万円増加し、受取手形及び売掛金が1億44百万円減少したことによるものであります。

負債は、前連結会計年度末に比べ2億16百万円増加し、106億33百万円となりました。この主な要因は、電子記録債務が3億11百万円増加し、未払法人税等が1億28百万円減少したことによるものであります。

純資産は、前連結会計年度末に比べ1億52百万円増加し、28億84百万円となりました。この主な要因は、利益剰余金が1億36百万円増加、その他有価証券評価差額金が16百万円増加したことによるものであります。

この結果、自己資本比率は前連結会計年度末の20.8%から21.3%となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成29年5月12日に公表いたしました第2四半期連結累計期間及び通期の連結業績予想を修正しております。詳細につきましては、本日（平成29年8月10日）公表の「業績予想の修正に関するお知らせ」をご参照下さい。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成29年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成29年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	4,100,150	4,177,091
受取手形及び売掛金	5,016,223	4,871,674
電子記録債権	584,777	899,669
商品及び製品	660,447	612,183
仕掛品	76,080	64,019
原材料及び貯蔵品	48,277	78,743
繰延税金資産	67,762	45,098
その他	31,411	38,790
貸倒引当金	△3,014	△3,060
流動資産合計	10,582,116	10,784,211
固定資産		
有形固定資産		
土地	878,612	878,612
その他(純額)	620,452	731,262
有形固定資産合計	1,499,064	1,609,874
無形固定資産	100,321	125,171
投資その他の資産	967,567	999,454
固定資産合計	2,566,953	2,734,500
資産合計	13,149,070	13,518,711
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	2,869,846	2,850,669
電子記録債務	3,242,111	3,553,158
1年内返済予定の長期借入金	654,300	619,952
未払法人税等	240,715	112,412
賞与引当金	96,300	50,000
その他	486,719	594,223
流動負債合計	7,589,993	7,780,415
固定負債		
社債	336,000	336,000
長期借入金	1,684,031	1,670,288
繰延税金負債	24,644	32,756
退職給付に係る負債	595,095	607,882
長期未払金	66,850	66,850
資産除去債務	14,101	13,502
その他	106,288	126,025
固定負債合計	2,827,011	2,853,304
負債合計	10,417,004	10,633,720

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成29年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成29年6月30日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	389,928	389,928
資本剰余金	322,078	322,078
利益剰余金	1,925,824	2,062,478
自己株式	△29,185	△29,185
株主資本合計	2,608,644	2,745,298
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	115,111	131,852
為替換算調整勘定	8,309	7,839
その他の包括利益累計額合計	123,420	139,692
純資産合計	2,732,065	2,884,991
負債純資産合計	13,149,070	13,518,711

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第1四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成29年4月1日 至平成29年6月30日)
売上高	4,705,202	6,595,964
売上原価	4,157,166	5,813,174
売上総利益	548,035	782,790
販売費及び一般管理費	402,576	468,756
営業利益	145,458	314,034
営業外収益		
受取利息	91	77
受取配当金	2,890	3,555
受取賃貸料	2,303	1,604
仕入割引	2,239	3,326
その他	3,727	2,032
営業外収益合計	11,251	10,596
営業外費用		
支払利息	14,190	12,460
その他	1,474	1,698
営業外費用合計	15,665	14,158
経常利益	141,044	310,472
税金等調整前四半期純利益	141,044	310,472
法人税等	33,734	125,192
四半期純利益	107,310	185,280
親会社株主に帰属する四半期純利益	107,310	185,280

(四半期連結包括利益計算書)

(第1四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 平成28年4月1日 至 平成28年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 平成29年4月1日 至 平成29年6月30日)
四半期純利益	107,310	185,280
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△5,187	16,741
為替換算調整勘定	△2,064	△469
その他の包括利益合計	△7,252	16,271
四半期包括利益	100,057	201,551
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	100,057	201,551
非支配株主に係る四半期包括利益	—	—

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

税金費用については、当第1四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

なお、法人税等調整額は、法人税等を含めて表示しております。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第1四半期連結累計期間（自平成28年4月1日 至平成28年6月30日）

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント			調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	販売事業	受託製造事業	合計		
売上高					
外部顧客への売上高	4,326,991	378,210	4,705,202	—	4,705,202
セグメント間の内部売上高 又は振替高	16,397	221,972	238,370	△238,370	—
計	4,343,389	600,183	4,943,572	△238,370	4,705,202
セグメント利益	57,367	82,615	139,982	5,475	145,458

(注) 1. セグメント利益の調整額5,475千円は、各セグメントが負担する営業費用及び営業外収益の消去差異等であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

II 当第1四半期連結累計期間（自平成29年4月1日 至平成29年6月30日）

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント			調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	販売事業	受託製造事業	合計		
売上高					
外部顧客への売上高	6,057,766	538,198	6,595,964	—	6,595,964
セグメント間の内部売上高 又は振替高	18,513	384,672	403,186	△403,186	—
計	6,076,279	922,871	6,999,151	△403,186	6,595,964
セグメント利益	185,063	124,137	309,201	4,833	314,034

(注) 1. セグメント利益の調整額4,833千円は、各セグメントが負担する営業費用及び営業外収益の消去差異等であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。